

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	改善点・工夫している点
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8				・今日やったことを自分から教えてくれるようになりました。	言葉のキャッチボールが楽しめるよう取り組んでいます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				・嫌がらず、家で過ごしているような安心感があります。	落ち着いた環境を心がけています。
適切な 支援 の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	8					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8				・色々なことが経験できてありがたいです。	季節感も取り入れるようにしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		1	1		
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	8					
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	7				1 ・行われているようですが実際に利用したことがないので分かりません。 ・夫婦で参加させていただき、前よりも子どもとの接し方、心に余裕（ゆとり）がもてるようになりました。	参加しやすい日時の設定を行い、今後も開催してまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8				・施設側からは送迎時お話を聞いたり、連絡帳で伝えていただいているので、こちらからも連絡帳に書いてお伝えする事ができて良かったです。 ・連絡帳で様子を教えていただけるので、子どもの変化を知れています。	ご自宅の様子も聞きながら、情報の共有や課題に取り組んでまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1	1	3		
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	1	2	・他の保護者の方と交流したことがないので分かりません。 ・ペアトレでは、他の方の悩みや上手くいったやり方などが知れて安心できました。	保護者の方々の情報交換の場を増やしていきたいと思っております。	

保護者等向け	児童発達支援評価表
--------	-----------

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	改善点・工夫している点
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			2		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8				・おたよりで活動の様子や行事予定がわかって助かります。子どもも写真を見て活動のことを教えてくれます。	・定期的なお便りとホームページのブログなどを活用し、活動の様子をお伝えしています。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7	1				
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5			3		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			4		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	8				・今日は行く日？行かない日？と聞いてくるようになりました。行く日だよ。と伝えるとやったー！と言うので、楽しんで通えているようです。 ・今日はエコさん？と聞き、行った後は楽しかったと毎回教えてくれます。	今後も課題や活動を楽しんで参加できるよう設定していきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	7	1			・療育を受けるようになってから、保育園へ行くのを嫌がらなくなり、片付けや排泄の自立などにも積極性が見られるようになりました。ありがとうございました。 ・放課後等デイサービスができて非常にうれしいです。	職員のスキルアップ、情報共有に努め、支援・療育内容の向上に取り組めます。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。